

# 4月から国保制度が変わります



平成30年度から国民健康保険（国保）制度が改正されます。詳しい改正内容やこれまでの国保運営の取り組みについて連載します。今回は、医療費の適正化・収納率の向上などに向けた取り組みを紹介します。



大野ジョー

**大野ジョー（ジョー）** ねえねえ健太くん。国保制度が来年度から変わるって本当なのかじょー？

**健太** 本当だよ。平成30年度から保険証などが変わるよ。でも、病院のかかり方や市役所窓口や手続きは変わらないんだ。

**ジョー** へえ、そうなんだじょー。でもなんで制度が変わることになったんだじょー？

**健太** 国保が抱えている「加入者の年齢が高く、医療費がたくさんかかる」という問題や「財政が不安定で赤字（医療費の支出が、国税などの収入を超えていること）」が続いている」という問題を解消するために、県が市町村の国保運営に加わることになったんだよ。

**ジョー** 大野城市も赤字なのかじょー？

**健太** 大野城市の国保財政も赤字が続いているよ・・・

**ジョー** 赤字を減らすために、これまでどういう取り組みをしてきたんだじょー？

**健太** さまざまな事業に取り組んでいるよ。これまでの主な取り組みを下の黒板で紹介するね。

**ジョー** へえ、いろいろなことをやっているんだじょー。ねえねえ健太くん、もっといろんなことを教えてほしいじょー。

**健太** 今回はここまで。次回（12月15日号）は、「これからの医療費」について紹介するよ。

※ジェネリック医薬品とは、医薬品メーカーが開発した「先発医薬品（新薬）」の特許が切れた後に、同じ有効成分で製造・販売されている医薬品のことです。先発医薬品より3割から5割程度安くなります。

## ● 問い合わせ先

国保年金課

☎(580)1846

テーマ	主な取り組み	効果 など
医療費の改善	<b>ジェネリック医薬品※の普及拡大</b> ジェネリック医薬品を普及拡大させるため、切り替えの勧奨通知の発送や希望シールの配布などを実施	<b>ジェネリック医薬品への切り替えによる医療費削減額</b> 平成27年度 約1億3千万円 平成28年度 約1億6千万円
	<b>診療報酬明細書（レセプト）点検の強化</b> 国保で負担する医療費の請求書であるレセプトの点検業務を民間委託により継続的に実施	<b>点検業務による医療費削減額</b> 平成27年度 約2500万円 平成28年度 約2600万円
健康増進による医療費削減	<b>特定健診の受診率向上</b> 生活習慣病の予防や健康の保持増進を目的として、健康診査で抽出したメタボリックシンドロームおよびその予備群の人に、適切な保健指導の機会の提供	<b>特定健診の受診率</b> 平成27年度 25.1% 平成28年度 27.9%
	<b>健康増進事業の推進</b> 被保険者の健康保持増進を目的として、健康度測定と健康増進教室・健康運動教室の充実	<b>利用者数</b> 平成27年度 9300人 平成28年度 1万600人
財源の確保	<b>年金情報を活用した国保資格管理の適正化</b> 日本年金機構から提供される年金データをもとに、国保加入者の資格の適正化への取り組み	<b>国保税調定額における減少額</b> 平成27年度 約63万円 平成28年度 約1143万円
	<b>収納率向上に向けた取り組み</b> 早期の臨戸・電話催告の徹底と県との連携による職員のスキルアップなど	<b>収納率</b> 平成27年度 87.61% 平成28年度 89.71%

主な取り組みについては、財政安定化のための計画を策定して平成28年度から取り組んでいます。